

4 施設普及事業

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

(1) 自主事業として実施した展覧会・イベント等

①活動展示 2010「ひきだす」

会 期：平成22年12月18日（土）
～2月11日（日）

日 数：41日間

主 催：新潟市歴史博物館

観 覧 料：無料

観覧者数：2,073人

概 要：収蔵資料を中心にした資料群から博物館の調査研究の方法や現状を紹介し、博物館の活動を紹介するとともに、“モノ”を意識的に博物館の視点から再編成した。また、実際に資料整理作業を展示することで、“モノ”が“資料”となっていく過程を伝えるとともに、学芸員と同じ目線で資料を見る機会を作って、資料の価値や面白さを共有した。



市民参加プログラム

(関連プログラム参加者数：173人)

	日時	タイトル	内容
①	12/19(日) 13:30～ 14:30	古写真の見方・楽しみ方を発見する	明治・大正・昭和初期の絵葉書・写真を見比べて、町並みの変遷をたどります。
②	12/23(祝) 13:30～ 14:30	絵のある生活を楽しむ	絵や版画などを壁に飾って楽しむ上で役に立つ、ちょっとした工夫を紹介します。
③	1/10(祝) 13:30～ 15:00	イタアワセをじっくり見る —船を使う人の視線—	展示室内で実測調査している農業用の木造船「イタアワセ」を題材に、蒲原平野の船を利用した農業について考えます。
④	1/15(土) 13:30～ 14:30	古写真の見方・楽しみ方を発見する	明治・大正・昭和初期の絵葉書・写真を見比べて、町並みの変遷をたどります。
⑤	1/16(日) 13:30～ 15:00	絵図から発見する江戸時代の新潟①	江戸時代の絵図を観察し、そこからさまざまな情報を読み取ります。その作業で明らかになる疑問点を持ち寄り、それぞれについて調査研究を進めるためのポイントを見つけていきます。地理的特徴を発見するだけでなく絵図特有の解説も体験しながら江戸時代の新潟の姿を想像しましょう。
⑥	1/22(土) 30～ 00	絵図から発見する江戸時代の新潟②	江戸時代の絵図を観察し、そこからさまざまな情報を読み取ります。その作業で明らかになる疑問点を持ち寄り、それぞれについて調査研究を進めるためのポイントを見つけていきます。地理的特徴を発見するだけでなく絵図特有の解説も体験しながら江戸時代の新潟の姿を想像しましょう。
⑦	1/23(日) 13:30～ 15:00	衣類を見る	展示している衣類を選んで詳細に観察調査をしたり、さまざまな衣類の調査データと比較しながらその資料の特徴を引き出し、使用状況を推測します。
⑧	1/29(土) 13:30～ 14:30	親子で見よう、博物館の舞台裏	モノが博物館の資料として収蔵され、活用されるまでの流れを、博物館の様々な施設・設備を通して紹介するバックヤードツアーです。
⑨	1/30(日) 13:30～ 15:00	イタアワセをじっくり見る —船大工の視線—	展示室内で調査している農業につかわれた船「イタアワセ」を題材に、蒲原平野の船大工の仕事について意見を出し合います。

⑩	2/1(火) 10:00～ 12:00	博物館の保存環境管理体験 —IPM 実践で文化財害虫対策—	みなとびあの保存環境管理を紹介します。害虫モニタリングを中心に、実際に行っている IPM 活動を体験します。
⑪	2/5(土) 13:30～ 15:00	絵図・地図で比較する近代の新潟	新潟市街のある地域について、現代と比較できる複数の絵図・地図を用いて観察調査を行い、その変化について考えます。
⑫	2/6(日) 13:30～ 15:30	学芸員体験！（調査編）	博物館学芸員の資料調査を体験します。民具資料を収蔵するまでの作業（①クリーニング②資料の観察③カード記録④写真撮影）を体験します。「むかしの道具」の隠れた情報を解き明かそう。
⑬	2/11(祝) 13:30～ 15:00	船大工道具をじっくり見る —船大工道具研究の現在—	船大工道具を見ながら、その特性を調べるとともに、船大工道具研究の現在の状況について紹介します。

②新収蔵品展

会 期：平成23年2月19日（土）～3月6日（日）

日 数：14日間

主 催：新潟市歴史博物館

観 覧 料：無料

観覧者数：921人

概 要：今年度、市民の方々から寄贈いただいた民俗資料・文書資料・メディア資料・美術資料等の中から、約100点を選んで一人でも多くの市民に観覧していただく機会とするため、新収蔵品展を開催した。

③収蔵品展「港の絵葉書・その他」

会 期：平成23年3月19日（土）～3月31日（日）

（実開催会期：～4月10日）

日 数：11日間（実開催日数：20日間）

主 催：新潟市歴史博物館

観 覧 料：無料

観覧者数：464人（実観覧者数：832人）

概 要：当館が所有する資料を市民に公開し、理解を深めてもらうことを目的に実施するもので、今年度は「港の絵葉書・その他」と題して実施した。絵葉書を中心に近代以降の港の様子を伝える資料を紹介するとともに、市民から見学の要望が高かった菖蒲塚古墳経塚出土品（重要文化財）を展示した。

(2) 共催事業として実施した展覧会・イベント等

博物館の近隣の市民団体や国・県などと連携し、共催で新潟の港や下町のPRを目的に以下の事業を実施した。

①堀と桜のコンサート

日 時：平成22年4月10日（日） PM1:30～3:30

会 場：芝生広場

主 催：新潟下町を良くする会、新潟市歴史博物館

共 催：シティプラス越後、新潟葦原吹奏楽団、津軽三味線木田栄会

後 援：北部総合コミュニティーセンター環境整備部

参 加 料：無料

参加者数：約500人

概 要：「うららかな春の日差しを浴びて芝生の上で音楽を楽しんでみませんか」の

コンセプトで、地元団体と共催で屋外コンサートを実施した。

②みなとぴあ「歴史たんけん」

日 時：平成22年5月2日（日） AM10:00～PM4:00

会 場：新潟市歴史博物館敷地内

主 催：新潟市歴史博物館ボランティア，新潟市歴史博物館

参 加 料：無料

参加者数：多数，旧税関塔屋見学（定員150人）

概 要：当館の常設展示，体験広場，敷地などを使って，みなとぴあボランティアスタッフが，大人も子どもも楽しめるプログラムを用意し，みなとぴあを会場に1日を楽しむ催しを企画・実施した。

③「新潟みなと水遊記」前夜祭・各イベントの参加

期 間：平成22年7月16日（金）・7月17日（土）～9月30日（木）

会 場：芝生広場，信濃川さがん，本館内 ほか

主 催：新潟みなとまちづくりネットワーク・新潟みなと水遊記 2010 事務局（構成員として新潟市歴史博物館も参加）

概 要：前夜祭行事として，柳都芸妓の舞や佐渡鬼鼓子等によるプレイベントを実施したほか，協賛事業として当館を会場に開催される企画展や各種イベントを新潟みなと水遊記ネットワーク事業として，新潟西港区域で開催されるイベントマップ等に掲出した。

④夕涼みコンサート

日 時：平成22年8月1日（日） PM6:30～8:00

会 場：芝生広場

主 催：新潟下町を良くする会，新潟市歴史博物館

共 催：シティブラス越後，新潟葦原吹奏楽団，津軽三味線木田栄会 ほか

後 援：北部総合コミュニティーセンター環境整備部

参 加 料：無料

参加者数：約600人

概 要：「ライトアップされた美しい夜景に包まれて，川風に吹かれながら，家族みんなで音楽を楽しもう！」とのコンセプトで地元団体と共催し，野外コンサートを実施した。

⑤夏休みこども写生会

日 時：平成22年8月18日（水） AM9:00～12:30

会 場：博物館敷地内

主 催：新潟日报社，新潟市歴史博物館

概 要：夏休みの楽しい1日を過ごすことを目的に，歴史ある建物や新潟西港の風景を講師のアドバイスを受けながら写生し，新潟の歴史と魅力を再発見する写生会を共催して実施した。

参 加 料：無料

参加者数：43人

⑥手づくり紙芝居講座

日 時：平成22年8月18日（水）～20日（金）

会 場：体験の広場

主 催：新潟かみしばいクラブ，新潟市歴史博物館

概 要：親子で紙芝居を作り，実演することで言葉の想像力を養う体験を共催し

て実施した。

参加料：100円（材料代）

参加者数：各日親子10組

⑦みなと・しもまち・川祭り2010「あかりの饗宴」

日時：平成22年8月22日（日） PM6:00～8:00

会場：信濃川旧河道，荷揚げ場

主催：北部開発協議会青年部，新潟市歴史博物館

概要：地元団体の協力を得て，灯籠流し，あかりムーブメントでみなとびあの敷地を幻想的な雰囲気 연출した。

参加料：無料

参加者数：約800人

⑧日本民具学会研究会第129回研究会

日時：平成22年8月29日（日） PM2:00～4:00

会場：セミナー室

主催：日本民具学会，新潟市歴史博物館

概要：民具学の研究と普及，民具の調査・整理・保存・活用等を目的に開催される講習会・講演会を当館を会場に開催した。

⑨みなとびあ写生会

日時：平成22年10月3日（日） AM10:00～PM2:00

会場：博物館敷地内

主催：新潟市歴史博物館ボランティア，新潟市歴史博物館

概要：歴史ある建物の風景を講師のアドバイスを受けながら写生し，新潟の開港の歴史を理解する写生会を実施した。

参加料：無料

参加者数：20人

⑩みなとびあフェスティバル2010

日時：平成22年10月11日（月・祝日） AM10:00～PM4:00

会場：新潟市歴史博物館敷地内

主催：新潟市歴史博物館ボランティア，新潟市歴史博物館

参加料：無料

参加者数：多数，旧税関庁舎塔屋見学者（定員150人）

概要：旧税関庁舎塔屋見学会，体験広場のプログラム，下町ミニたんけん会等，みなとびあボランティアスタッフが，大人も子どもも楽しめるプログラムを用意し，みなとびあを会場に1日を楽しむ催しを企画・実施した。

⑪文化財保存新潟県協議会「歴史講演会」

日時：平成22年11月21日（日） PM2:00～4:30

会場：セミナー室

主催：文化財保存新潟県協議会，新潟市歴史博物館

概要：世界遺産に向けての考古学的調査から明らかになった佐渡の魅力再認識するため，講演と調査報告会を開催した。

演題：「中近世の佐渡金山ー近年の考古学的調査からー」

講師：宇佐美 亮氏（佐渡市世界遺産推進室）

報告：「佐渡の考古学的魅力と世界遺産登録への期待」

講師：橋本 博文氏（文新協副会長・新潟大学人文学部教授）

参加料：500円（資料代）

参加者数：定員80人

⑫文化財保存新潟県協議会第11回学習会「弥生・古墳講座」

日時：平成22年12月19日（日）PM1：30～4：00

会場：セミナー室

主催：文化財保存新潟県協議会，新潟市歴史博物館

概要：六日町飯綱山古墳群などたくさんの発掘調査に関わってきた豊富な研究成果を踏まえ，新潟の中期古墳文化の魅力を語る研究報告会を開催した。

演題：「飯綱山古墳群と越後の中期古墳」

講師：橋本 博文氏（文新協副会長・新潟大学人文学部教授）

参加料：500円（資料代）

参加者数：定員80人

(3) 貸し館の形態で協力した事業・イベント等

① ‘10新潟ロードレース

日時：平成22年4月18日（日）

会場：博物館敷地内

主催：新潟日报社，新潟市陸上協議協会

後援：新潟市教育委員会，新潟市体育協会

内容：信濃川河畔を主なコースとしたロードレースの通過コースとなった。

②湊まち歴史ウォーク

日時：平成22年5月22日（土）

会場：セミナー室，芝生広場ほか

主催：湊まち歴史ウォーク実行委員会

後援：NPO法人新潟みなとクラブ，新潟港湾・空港整備事務所

内容：平成19年から新潟港の開港140年記念行事として始まり，本年度もテーマを設けて市内の歴史ある史跡を踏査し，港全体の歴史や文化などを理解してもらう事業の視察（集散）会場となった。

③第48回日本現代工芸美術展・新潟展

日時：平成22年6月26日（土）～7月4日（日）

会場：企画展示室ほか

主催：(社)現代工芸美術家協会，新潟日报社，現代工芸新潟会

後援：新潟県，新潟市，新潟県商工会議所連合会，NHK新潟放送局，BSN新潟放送，NST新潟総合テレビ，TeNYテレビ新潟，UX新潟テレビ21，新潟県美術家連盟，新潟日報美術振興財団

内容：列品の解説会，作品展示会，特別展示

④東京税関新潟支署保管証券返還式・展示会

日時：平成22年8月12日（木）

会場：旧税関庁舎展示室

主催：東京税関新潟支署

内容：第二次大戦終戦時に引揚者から預かった通貨，証券類の返還式と返還促進のため，当館で報道向けの公開と一般公開を行なう会場となった。

⑤新潟ヨガフェスタ2010（「新潟みなと水遊記」参加事業）

日時：平成22年9月26日（土）（※9月23日（木・祝日）雨天のため延期して）

会 場：芝生広場
主 催：新潟ヨガフェスタ2010実行委員会
内 容：「みなとまちにいがた」らしいロケーションのもと、ヨガを通して参加者の一体感を体感し、ふるさとを愛する気持ちを育てるとともに、ジャンルを問わず同じ場所で交流を図ることを目的としたヨガ大会の会場となった。

⑥第4回入舟小ふれあいウォーク

日 時：平成22年10月3日（日）
会 場：芝生広場（集合・出発・解散場所）
主 催：入舟小学校区コミュニティ協議会
内 容：秋の1日、信濃川を眺めながらやすらぎ堤から陸上競技場までを折り返す、地元団体によるふれあいウォークの会場となった。

⑦新潟シティマラソン

日 時：平成22年10月10日（日）
会 場：博物館敷地内（通過コース・救護所の設定）
主 催：新潟市・新潟市教育委員会・新潟市陸上競技協会・財団法人新潟市体育協会・新潟シティマラソン実行委員会
主 管：新潟市陸上競技協会
内 容：新潟マラソン大会の名称を「新潟シティマラソン」に変更し、榎谷小路、萬代橋をはじめとした市街地や信濃川、日本海など豊かな水辺を走る新コース（参加者規模10,000人）の通過コースとなった。

⑧第3回「縄文楽検定」

日 時：平成23年3月5日（土）
会 場：セミナー室
主 催：信濃川火焰街道連携協議会（歴史文化課）
内 容：信濃川火焰街道連携協議会主催の第3回「縄文楽検定」の新潟会場（初級）の受験会場となった。

(4) その他広報・地域連携を目的に、開催を支援した事業・イベント等

①新潟下町「春の花遊び」

日 時：平成22年4月29日（木・祝日）
会 場：芝生広場（集合場所）
主 催：日和山委員会
内 容：シティガイドと博物館（みなとびあ）を出発、一緒にスタンプラリーをしながら日和山登山を楽しむ周辺の地元住民主催による市民参加行事の開催を側面支援した。

②早川掘通りつつじ祭り（第6回）

日 時：平成22年5月9日（日）
会 場：早川掘通り
主 催：新潟下町・早川掘通りつつじ祭り実行委員会ほか
内 容：周辺の地元住民による祭りイベントの開催を支援した。

(5) みなとびあファンクラブ

■目的

- ・博物館の設置目的を理解し、その活動に協力すること。

- ・会員の新潟市の歴史や文化に関する教養を深めること。
- ・会員相互及び会員・職員の親睦を深めること。

■主な事業

- ・常設展及び、博物館主催の企画展観覧料の割引（2割引）。
- ・博物館ニュース等の博物館情報の配布。
- ・博物館主催の展覧会等の解説会の開催。
- ・史跡探訪ツアーの開催。

■年会費等

- ・年会費は600円とし、参加費の必要な事業に参加する場合は、その都度納める。
- ・この会は、毎年10月1日から翌年9月30日までを1年度とする。

■会の発足

- ・この会は、平成19年10月1日からとする。

■平成22年度の活動（4月～3月）等

①ファンクラブ会員の募集

- ・平成22年度 同年10月1日～更新手続・新規会員募集
（会員数130名：23年3月年度末）

②ファンクラブ通信の発行

- ・14号～19号まで、号外、特集号を発行

③企画展鑑賞会

- ・実施日：各企画展の開幕日

④館長と行くバスツアー「新潟市近郊と五頭山麓古代・中世の旅」

- ・実施日：平成22年6月28日（日）
- ・行き先：新潟市北区・阿賀野市笹神方面
- ・参加費：4,500円（バス代・昼食代・資料代・保険料等）
- ・参加者：38名

⑤まち歩き

1)「第5回 新潟まちあるき“女池の村道を歩く”」

- ・実施日：平成22年5月14日（金）
- ・行き先：桜木～皆応寺～男池跡～女池神明宮～逆竹 等
- ・参加費：50円（保険料）
- ・参加者：11名

2)「第6回 新潟まちあるき“島から砂丘を登る”」

- ・実施日：平成22年10月23日（土）
- ・行き先：当館～湊稻荷～日和山展望台～日和山墓地 等
- ・参加費：200円（保険料・資料代等）
- ・参加者：13名

⑥みなとびあファンクラブのつどい「館長講演会」

- ・実施日：平成23年2月13日（日）PM2:00～4:00
- ・演 題：「淳足柵を探して」
- ・参加費：無料
- ・参加者：33名

5 調査研究事業

市民の関心を呼び起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、日常的に資料を調査したり、館活動について研究したりした。関する調査などを重点的に実施した。また、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、そうした成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要7号』にまとめた。

(1) 『新潟市歴史博物館研究紀要』第7号の刊行

博物館の開館までの研究成果と、開館7年目の企画展調査・博物館活動の成果を踏まえて、学芸員が研究論文等を執筆した。

(2) 重点テーマの調査研究

館蔵大型絵図や市域民具の分布・保存状況、農業近代化に関する聴き取り調査などの詳細研究及び公開データベースによる史料公開・整理作業に着手した。

(3) 重点テーマ研究促進等のための専門図書の収集

本格的な重点テーマ研究等を進めていくため、必要となる専門図書を購入した。

6 資料整理・保存事業

寄贈された歴史・民俗・美術・図書・メディア等の資料を長期的に保存・活用するため、下記の事業を行った。

(1) 保存環境管理

収蔵庫や展示室など本館の環境調査を実施するとともに、博物館収蔵庫・旧木場小学校校舎の清掃を行うなど、歴史的資料の保存環境の整備に取り組んだ。

(2) 資料整理

歴史的資料を保存管理していくため、資料情報の調査・記録の運用と資料の養生を行った。

(3) 燻蒸

博物館防虫対策のため、燻蒸を実施

◇期間 平成22年6月14日～6月21日の8日間

(4) 受入・購入した資史料等

◇平成22年度 受入 28件

購入 1件

(資料の種類：民具，図書，絵画，歴史資料など)

7 刊行物

(1) 図録

①『砂丘物語原画展』A4判72頁

②『海峡を越えて－佐渡と新潟－』A4判64頁

(2) 紀要

①『新潟市歴史博物館研究紀要』第7号A4判56頁

(3) その他

①「博物館ニュース『帆檣成林』vol.19」A4判8頁

②「博物館ニュース『帆檣成林』vol.20」A4判8頁

③「博物館ニュース『帆檣成林』vol.21」A4判8頁